

## 上下水道事業 中期経営プラン（令和5～9年度）骨子案に関する 市民意見の募集について

本市では、節水型社会の定着による水需要の減少や老朽化した管路・施設の増大等の課題に対応するため、平成30年3月に「京都市上下水道事業経営ビジョン（2018-2027）京（みやこ）の水ビジョンーあすをつくるー」（以下「ビジョン」といいます。）及び「中期経営プラン（2018-2022）」（以下「前期プラン」といいます。）を策定し、管路・施設の改築更新・耐震化やその財源確保のための取組等を進めています。

これまで、ビジョン及び前期プランに掲げる各事業を着実に推進してきた一方で、従来の水需要の減少や老朽化等の課題に加えて、新型コロナウイルスの影響による水需要の大幅な減少、社会情勢の変化に伴う工事費の上昇など、ビジョンの策定時には想定していなかった新たな課題が生じています。

今後も厳しい経営環境が続く見通しですが、こうした課題に対応し、市民生活を支える重要なライフラインを将来にわたって守り続けるため、ビジョンの後期5か年（令和5～9年度）の実施計画となる新たな中期経営プラン（以下「後期プラン」といいます。）の検討を進めています。

この度、基本方針や取組の方向性をまとめた後期プランの骨子案を取りまとめ、市民意見募集を行いますので、御報告いたします。

### 1 主な内容（別紙 市民意見募集冊子（案）参照）

#### (1) 基本方針（7ページ）

- ① いのちや暮らしを支える重要なライフラインである上下水道を将来に向けて守り続けるため、引き続き管路・施設の改築更新・耐震化をはじめとする各事業を着実に進めます。
- ② 経営基盤を強化し、事業運営を持続可能なものとするため、より一層の経営の効率化等に取り組むとともに、次期ビジョン以降の中長期を見据えた施設マネジメントの取組を推進します。

#### (2) 取組の方向性（8～11ページ）

##### ア 視点① 京の水をみらいへつなぐ（8ページ）

- 水道及び下水道の管路・施設について、限られた事業費の中でこれまで以上に事業の優先順位を考慮し適切に改築更新・耐震化を進めるとともに、計画的な維持管理を実施します。

- 近年、全国各地で頻発している地震等の被害を踏まえ、災害対応力の強化を図るとともに、関係局区と連携した浸水対策を推進し、雨に強いまちづくりを進めます。
- 京都府をはじめ各自治体とともに広域化のあり方について協議・情報交換を行いながら検討を進めるとともに、広域連携の取組についても実施します。

#### イ 視点② 京の水でこころをはぐくむ（10ページ）

- デジタル化の視点を踏まえた新たなお客さまサービスや広報・広聴の取組を検討・実施するとともに、琵琶湖疏水のフィールドミュージアム化に向けた取組を推進します。
- 低炭素社会の実現や循環型まちづくりへの貢献を目指し、温室効果ガス排出量削減のための取組を推進するとともに、下水汚泥の有効活用を図ります。

#### ウ 視点③ 京の水をささえつづける（11ページ）

- ベテラン職員の持つノウハウや知識・技術を継承するための体系的な研修を実施するとともに、技術研修施設の活用等を通じて市民・事業者の皆さまとの更なる連携を図ります。
- 施設の長寿命化や効果的・効率的な維持管理に向けた取組を推進します。また、財政基盤の強化や保有資産の有効活用等による増収策の実施により財務体質の更なる強化を図ります。

### (3) 財政の見通し（12～13ページ）

#### ア 前期プラン期間（平成30～令和4年度）の見通し（12ページ）

- ビジョンでは、将来世代に負担を先送りしないよう、効率的な事業運営により管路・施設の更新のための財源を確保することとし、水道事業・公共下水道事業ともに、それぞれ10か年で200億円の積立金の確保を目指しています。そして、このうち前期プラン期間の5か年では、水道事業100億円、公共下水道事業50億円の積立金の確保を目標としています。
- この間、収入面では新型コロナウイルスの影響により収入が大幅に減少する一方、支出面では経営の効率化等の取組を進め経費削減を図っていますが資材価格や電気代の高騰等により物件費が大きく増加しています。
- 前期プラン期間の積立金確保額は、水道事業では102億円（目標+2億円）となる見込みであり、公共下水道事業では38億円（目標△12億円）に留まる見込みです。

#### イ 後期プラン期間（令和5～9年度）の見通し（13ページ）

- 後期プラン期間においても、収入の減少や物件費等の増加により、改築更新の財源となる積立金の確保額が減少することが想定されます。そのため、現在、収入・支出の見通しについて精査することとあわせて、業務執行体制

の見直し等による経費削減や保有資産の有効活用など、ビジョン10か年の積立金目標額を確保するための取組について検討を行っています。

(後期プラン5か年の収支見通しについては、令和5年1月下旬に後期プラン(案)においてお示しする予定)

- 今後も中長期的に老朽化や水需要の減少等が継続する見通しであり、また、資材価格や電気代等の動向は不透明で更なる上昇も考えられるため、改築更新の財源となる積立金の確保が一層困難となることが想定されます。

こうした厳しい経営見通しを踏まえて、令和4年度から局内に「施設マネジメント推進プロジェクトチーム」を設置し、事業費・事業量の更なる平準化に向けた検討を開始しました。

令和5年度以降、これらの取組を継続して進め、後期プラン期間の中間時点を目途に、将来必要となる事業費の長期的な見通しを検証します。そのうえで、市民の皆さまの重要なライフラインを未来に継承・発展させていくために、世代間の公平性等を考慮した積立金(資産維持費等)の必要額を再検証し、更なる経営の効率化や増収のための方策など、あらゆる観点で財政基盤強化の取組を検討していきます。

## 2 市民意見募集について

### (1) 募集期間

令和4年11月16日(水)から12月15日(木)まで

### (2) 意見募集冊子の入手方法

- 上下水道局総合庁舎、お客さま窓口サービスコーナー、各営業所、琵琶湖疏水記念館、市役所案内所、情報公開コーナー、各区役所・支所、各市立図書館等
- ホームページ「京都市情報館」からのダウンロード

### (3) 提出方法

ホームページ「京都市情報館」ご意見送信フォーム、電子メール、FAX、郵送及び持参のいずれかの方法により提出していただけます。

## 3 今後の予定

令和4年11月16日	市民意見募集の開始
12月15日	市民意見募集の締切
令和5年1月下旬	市民意見募集の結果及び後期プラン(案)を市会 (産業交通水道委員会)に報告
3月	後期プラン策定・公表